



特別寄稿

「祇園祭、コロナ禍を越え新たな時代へ」

新型コロナウイルスの影響により、今年は、稲荷祭、松尾祭など神輿が区内を巡行する地域の代表的な祭りが一部取りやめになっています。そして、京都の三大祭りは祭りに続き、祇園祭も山鉾巡行など主要な行事が中止されています。

今号では、幾多の困難を乗り越え、町衆の思いを受け継いできた祇園祭に懸ける思いを、下京区にお住まいで、祇園祭山鉾連合会理事の田原大仁氏(太子山保存会理事長)に寄稿いただきました。

公益財団法人 祇園祭山鉾連合会

理事 田原大仁

楽しみにしておりました日本でのオリンピック、パラリンピックが、突然のコロナウイルス禍によって延期になりました。

次は、祇園祭は？ 3月27日山鉾連合会34ヶ町代表者会議が行われました。発言はいろいろ、「疫病退散の祭りだから行おう」「感染拡大の恐れからやめよう」意見は正反対です。祭りを行いたいとの気持ちは同じなのですが、代表者達の思いは複雑でした。後に残念ながら巡行中止が決定し通達されました。

祇園祭の歴史は、おおよそ平安時代から始まります。巡行中止は、応仁の乱、江戸期の市中大火、太平洋戦争、阪急の地下化工事以来のことで、延期になったことはありません。今回の中止決定は、私達祭り関係者には大惨事なのです。

巡行中止を受け、さあ会議を開こうとしてもコロナ禍で、顔と顔を突き合わせた会合を開けない状態です。メールやラインに連絡方法を切り替え、次はリモート会議となりました。町内の若い人に教わりながらリモート会議を行いました。画面を通して顔と顔に照れながらも、意見を出し合っています。新しい事に不便さを感じながらも、新しい変化や新時代になるような気がしております。

以前、地域自治連のお役をしていた頃は、大げさに言えば、「三日にあげず」の言葉と同様、誰かと連

来年は無事執り行われるよう祈っています！
今年の祇園祭の行事予定は、祇園祭山鉾連合会のホームページをご覧ください。

ホームページはこちらから！



絡しまた会いに行き、打ち合わせして多くの区民と行事を行い楽しんできました。しかし今、学区の行事が無くなりました。区民同士が密に接してきた関係、絆が、無くなりそうです。そんなコロナ禍は、人と人の距離を開ける、空ける禍なのです……

しかし、先人達は疫病を見越してか、神社やお寺には手洗い所を設け、参拝しました。習慣として手を洗う癖を根付かせました。日本人の感染者が少ないのは、昔から教わった知恵、その習慣が感染者を少なくしています。

私達は、その知恵を持った先人達から、物だけでなくDNAも受け継いでいるのです。真面目で一生懸命取り組む姿勢です。先人達同様、巡行が中止になりながらも祇園祭本来の「疫病、悪霊退散」「家内安全」の行事は、心を込めて行い祈りたいと存じます。
祭りの復活に向けて、皆様とともに新たな時代への歩みを進めていければと願っています。

下京マモル君からのお知らせ ～楽しい花火に隠れる危険～

夏といえば「花火」を思い浮かべる方が多いと思います。家族、友達とする花火はとても楽しいものです。しかし、遊び方を誤ると思わぬやけどや火災の危険があり、注意が必要です。花火遊びも、ソーシャルディスタンスで安全に！

今回は、正しい花火の使用方法について紹介します。

してはいけないこと	正しい遊び方
×花火の準備をする時、花火とライターだけ用意する。	○花火をする前に、水の入ったバケツとゴミ袋は必ず用意しましょう。また、花火にはライターではなくローソクで火をつけるようにしましょう。
×風が強くても、花火をしようとする。	○強い風が吹く中での花火は控えましょう。
×子どもだけで花火をする。	○花火は、必ず大人と一緒にするようにしましょう。
×両手に花火を持ったり、花火を人がいる方に向ける。	○いずれも危険な行為です。花火をしているときは、やけどをしたり、させたりしないよう周りをよく見ましょう。
×使い終わった花火を地面に置いておく。	○花火の火が消えても、必ず水の入ったバケツに入れ、確実に消火しましょう。また、出たゴミは全て持ち帰りましょう。



下京マモル君

遊び方を確認し、事故を防ぐことで、楽しい思い出にしましょう！

☎ 下京消防署 (☎361-4411)

千年を守る 未来を創る

下京警察署からのお知らせ

詐欺の防止には、防犯機能付きの電話機が有効です！

新型コロナウイルス感染症への不安感に便乗した、予兆電話(アポ電)などを含む特殊詐欺にご注意ください。

特殊詐欺被害のうち、約8割の方は自宅固定電話へ犯人から電話があり、特に高齢者の方が被害に遭われています。犯人からの電話を防ぐには、防犯機能付きの電話機が大変有効です。電話の買い替えに際して、防犯機能付き電話機の購入をぜひご検討ください。



ポリスマろん

☎ 下京警察署 (☎352-0110)

マスクなどの捨て方について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクやティッシュなどのごみを捨てる際は、マスクなどを袋で包んだうえで、「燃やすごみ」として本市指定の燃やすごみ用ゴミ袋(黄色い袋)に入れて排出してください。

ごみ収集作業を行う際、ゴミ袋が破裂して中身(マスク、ティッシュなど)が飛散することから生じる感染リスクを減らすため、ご協力をお願いします。

ごみに直接触れない

ゴミ袋はしっかり縛って封をする

ごみを捨てた後は手を洗う



☎ 下京エコまちステーション (☎366-0186)

運重

○自転車の安全利用の推進
○飲酒運転の根絶

